

農場通信 2023年 11月号

2023/10/25

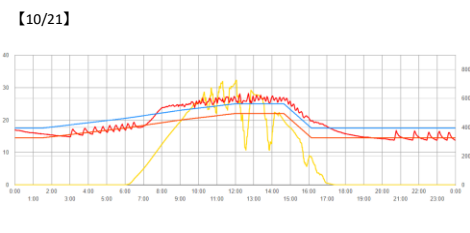
トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容 ③ 開始日 ④ 終了予定 ① 第4 A ② ココバッグ展示 天敵によるコナジラミ防除試験 ③ 2023/8/30 ④ 2024/8/10

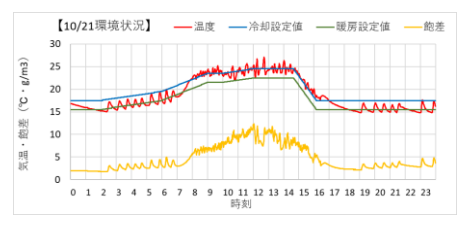
品目	圃場写真①	圃場写真②
栽培中 栽培準備中 今月最終		
直近の環境データ・管理方法(晴天日) ※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています	今月の状況 と 今後の管理	

大玉トマト		
【10/23 環境状況】 	8/30に定植しました。品種：桃太郎ホープ 今年、ココバッグ通常タイプ、試作の「ミニ」、 ロックウールで比較試験をしています。また、列中 央に「クレオメ」を定植し、コナジラミの天敵である タバコスミカメを放飼して、防除を行う計画です。 11月初旬頃から収穫開始見込み。今年は初期の 裂果を防ぐため果実付近の湿度維持を重視し、 下葉を意図的に残す管理をしています。	

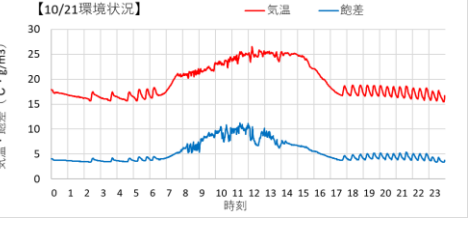
① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

ミニトマト		
【10/21】 	現在、開花段数は12～14段。 高温等の要因が重なり、一時草勢が弱くなり ましたが給液量やECを上げることによって回 復してきました。10月に入り夜温が冷え込む ようになったので早朝加温をしています。 給液量は約1400cc/株、EC2.0前後、排液は 30%になるように管理しています。	

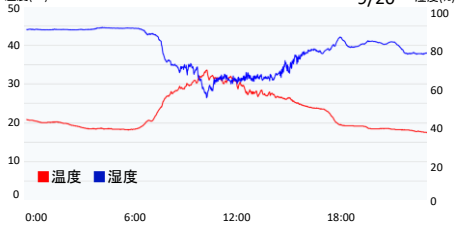
① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験 ③ 2023/7/28 ④ 2024/6月

大玉トマト		
【10/21環境状況】 	7月28日に定植を行いました。 現在、開花段数8～9段。 3～4段収穫中です 裂果が発生している状態で 水の管理に気を付けると共に、 品種による差を確認していきます。	

① 第4 D ② バラエティートマト品種比較試験 ③ 2023/8/27 ④

バラエティートマト		
【10/21環境状況】 	8月27日定植 5～6段開花、早い品種で収穫が始まってい ます。	

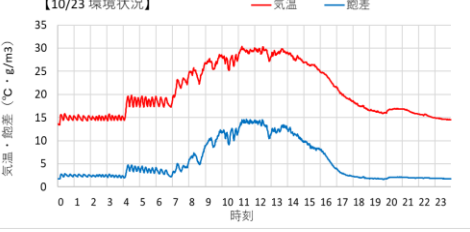
① 第4 E ② イチゴ栽培試験 ③ 2023/9/7 ④ 2023/9/20

イチゴ		
温度(℃) 湿度(%) 	10月4週目に少しずつ花芽分化してきま した。 まだ試験ごとの統計をとれるほどではないの で開化日等、順次調査していきます。 給液量は200cc/株、EC0.6前後で管理をして います。	

① 第4 J ② ココバッグによる多収技術開発 栽植密度・葉面積管理試験 ③ 2023/10/6 ④ 2024/6月予定

キュウリ		
【10/23 環境状況】 	10/6に定植しました。ココバッグは2年目にな ります。品種は埼玉原種の「S-40」を栽培し、 栽植密度と葉面積の最適値を検証します。 10月末現在、子づるの仕立てまで完了。11 月初旬頃より収穫開始見込みです。ここま では子づるの伸びを促すために高温多湿気味 の管理。以降は生殖生長に傾けるため、夜 温を少しずつ下げていきます。	

① 第4 I ② 高糖度ミニトマト品種比較試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月

高糖度ミニトマト		
【10/23 環境状況】 	8/18に定植を行いました。 高糖度トマト専用の肥料処方を使い、給液EC2.0 からスタート。10月末時点で給液EC6.0まで上げ、 排液ECは20.0以上(計測不能)になりました。 日中暑い日が続いているためか、ストレスが過剰 にかかっているようで、玉サイズはかなり小さめ になっていますが、糖度は品種によってはすで に10度近くまで上がっています。	



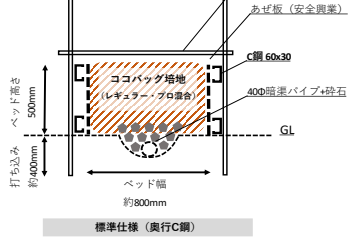
豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp

① 第1 Q ② コマツナ品種比較試験 ③ 2023/7/20 ④ 2023/10月

コマツナ	圃場写真①	圃場写真②
栽培終了 調査データご希望の方は、お近くの営業所、または、研究農場までお問い合わせください		今回は11月下旬播種、1月初旬収穫予定

① 第3 M ② アスパラガス栽培試験 ③ 2023/6/2 ④ 周年

アスパラガス		
		アスパラの「枠板式栽培」の実証試験。 枠板で隔離したベッドにココバッグの中身を入れて養液栽培をします。 空きハウスで無加温作物の一つとして提案できれば面白い。品種も新しいタイプ3種類を含む、計6種類試験します。 今作は株を育てて、収穫は来年春からです。 夏にヨトウがかなり発生しましたが、数回消毒して現在は落ち着いています。

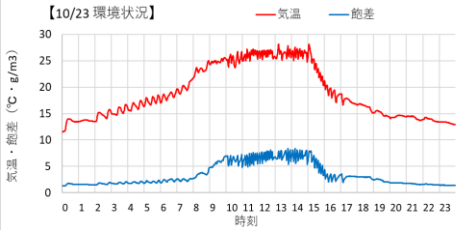
① 第6 露地 ② キャベツ品種比較 ③ 2023/8/23 ④

キャベツ			◀ 1 作 目
冬系キャベツ ①年内作 8/23定植 ②年またぎ作 9/5定植 ③年明け作 9/20定植 ④3～4月作 9/27定植 春系キャベツ 年明け作 9/27定植		冬系キャベツ・春系キャベツともに定植が完了しました。 一時的に乾燥する期間がありましたが灌水や葉面散布等に対応しました。 1作目は11月下旬の収穫を予定しています。	

① 第7 露地 ② 緑肥試験 ③ 2023/4/13 ④

緑肥		
4/13 播種 7/10 緑肥すき込み 8/30 キャベツ定植		緑肥の効果検証のため通常の施肥量(窒素)を2割減らしています。 施肥量を減らした分、全体的に生育の遅れが見られます。

① 第8 ② 大玉トマト高糖度栽培試験 ③ 2023/8/18 ④ 2024/7月下旬

高糖度トマト		
		品種は昨年同様 麗旬、台木はアーノルドになります。今作は「高糖度トマト安定生産技術開発」の3年目となります。1、2年目で肥料処方や日室素施用量の最適化を行い、3年目は増枝による増収技術の確立を目指します。 目標糖度は7度以上で収量は反あたり18トンです。 収穫開始は11月初旬頃を見込んでいます。 10月末現在、5段開花。給液ECは上限の7.0まで上げています。

① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較 ③ 2023/8/21 ④

ブロッコリー			◀ 1 作 目
1作目: 7/25播種 8/21定植 2作目: 8/16播種 9/15定植 3作目: 8/29播種 9/26定植 4作目: 9/12播種 10/11定植		各作型、順次追肥を行っています 1作目で出蕾が開始しています。	

① 第7ハウス ② 産直向け品目 ③ 2023/10月 ④

産直向け品目		
10月より産直向け品目栽培中		南棟では、ニンジンやピーツを播種し、北棟では、ブロッコリーや芽キャベツ、ズッキーニなどを定植しました。



豊かさ実る、タネを。
トヨタネ株式会社

研究農場 TEL (0532) 41-2007
愛知県豊橋市東高田町371 FAX(0532)41-2015
URL <https://www.toyotane.co.jp/>
E-mail info@toyotane.co.jp